

生徒の「目の輝きと感動」

ナウマン象発見 50 周年記念事業は、生徒にとって「ふるさと忠類」を見つめなおす貴重な機会となりました。事業の一環で、50 年ぶりに里帰りした化石骨を手にした時の生徒の「目の輝き」は、本物に触れることができた大きな感動を表していたと思います。

また、北海道博物館 添田雄二学芸員をお招きして開催した PTA 研修会では、忠類ナウマン象が、北海道の歴史を紐解く貴重な資料となっていることを学ぶことができました。

遥か日高山脈を望み、原生林が生い茂るこの大地をナウマン象の群れがゆっくりと歩く姿を思い描きながら、生徒たちは「ふるさと忠類」がナウマン象発見の地であることを将来にわたって誇りに思うはずです。

(忠類中学校 校長 佐々木 典郎さん)

間近で本物の化石と対面

私は「ナウマン象化石骨発見 50 周年記念事業」に参加し、他の地域で発見されたナウマン象の化石は、体の 3 分の 1 以下しか発見されていないと知り、忠類のナウマン象の化石がほぼ完全に残っていたのは本当に特別なことだと思いました。

発見された当時は、忠類にナウマン象約 1 頭分の化石を保存できる場所がなかったため、北海道博物館に展示することになりましたが、化石全てが忠類に戻ってくることは、それ以来なかったようです。今回は 50 周年ということで化石全てが忠類へ戻ってくることで、間近で本物の化石を見ることができ、良かったです。

いつか忠類にナウマン象の化石全てを展示できるようになったら、人が増え、もっと明るい地域になるのではないかと私は思いました

(忠類中学校 3 年 庄野 葉月さん)

《イベント情報》

～ 2019 年発掘調査で発見された 2 つのくぼみの分析結果報告会～

- 日時 2月19日(※) 午後6時30分～ (約1時間半)
- 会場 忠類ナウマン象記念館 ※入場無料、参加申込は不要です。
- 内容 「ナウマンゾウの足跡化石の発見」 講師 北海道博物館 学芸員 添田 雄二 氏 「十勝の動物化石の環境」 講師 足寄動物化石博物館 館長 澤村 寛 氏

応援メッセージが届きました！



円山動物園で楽しく暮らす象

私は、修学旅行で円山動物園の象舎のバックヤードを見学させていただきました。バックヤードに入ると象が訓練するところがあったり、飼育スペースには、壁の穴や地面の砂に餌を隠すなどの工夫を聞かせてもらったりしました。私はこの工夫を聞いて象が楽しく暮らせるためにいろいろな工夫をしているのだなと思いました。私は見学させてもらって象や飼育についてわかったので、それをこれから生かしていきたいと思いました。

(忠類小学校 6 年 古山 莉海さん)

円山動物園で象と対面

私は、修学旅行で円山動物園に行き、象舎のバックヤードを見学させていただきました。思っていたよりも広くて、歩いていると象が訓練するところも見えてきました。おりが沢山あり、訓練の時は、おり越しで行くことも初めて知りました。私は、おりの中で象 1 頭が生活することができるくらい小さいかと思っていたけれど、訓練できるところもあるくらい広く訓練の内容も教えてもらい、勉強になりました。

(忠類小学校 6 年 長田 幸桜さん)



子どもたちの成長に大きな期待

忠類ナウマン象化石骨発見 50 周年記念事業への参加は、素晴らしい学習機会となりました。発見以来 50 年間、地域が大切にしてきた貴重な財産を改めて見直し、その良さや特色をしっかりと感じ取ることができたと思います。そして、約 12 万年前に生きていたナウマン象について、今までの新たな発見がある研究の素晴らしさと奥の深さに触れたことも貴重な体験でした。子どもたちが今後の更なる展開の担い手になってくれることを願うばかりです。

(忠類小学校 校長 仲 敏行さん)

忠類ならではの体験！！

今回のプロジェクトや様々な体験に関わらせていただき感謝の思いでいっぱいです。と言うのも、子どもたちも目的をしっかり持って行っていましたが、何よりも忠類の特色であるナウマン象のことについて深く学ぶことができました。何より「すごい!!」、「忠類ならではの体験ができて良かった」や、これからの活動を初めて子どもたちに話した時に「行きたい!!」と大変意欲的に、そして楽しく参加することができました。子どもたちは、ナウマン象とマンモス象の違いを説明できますし、何よりも自分たちの「ふるさと」に愛着を持っているように感じます。最後になりましたが、様々な活動にご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。

(忠類小学校 6 年担任 松井 孝之さん)

忠類ナウマン象化石骨発見 50 周年記念事業特集

ナウマン象が帰ってきたよ！ VOL.2

忠類ナウマン象化石骨の発見から 50 年・・・ 記念事業では、子どもたちが化石に触れる、発掘体験をするなど工夫を凝らした取り組みが行われています。広報まくべつ 2 月号では、引き続き参加した子どもたちの「驚き」と「感動」の声と、忠類小・中学校長と担任の先生の声をご紹介します。

